

第63回 奈良県中学校剣道新人大会

標記剣道大会が、11/18（土）・19（日）に行われました。
結果は、次の通り。



・男子個人の部

優勝・・・井上 賢史郎（2年）

・男子団体の部

優勝・・・2年：井上 賢史郎・明賀 仙太郎・柴田 一慶

1年：西浦 尚希・富田 宗汰・富田 和良・山下 陽生

初日は、郡山市の金魚スクエアで、各校男女2名の参加で行われた個人戦。女子は望月（2年）・若林（2年）が出場しました。望月は、準優勝した選手に敗れ、ベスト8。若林は優勝した選手に敗れ、ベスト16でした。続いて男子。井上（2年）・明賀（2年）が出場しました。明賀は、1回戦から夏に近畿大会に出場した選手との対戦でしたが、勝ち上がり、2回戦は、奈良市の新人戦で準優勝、今大会3位の選手との対戦。奈良市の新人戦準決勝で敗れた相手ですが、抜き胴などおいしい技もあり、内容は互角でした。しかし、延長で引き面を打たれ、敗退。そして、キャプテンの井上。1回戦から危なげなく勝ち上がり、決勝戦は、香芝市の新人戦優勝者との対戦。立ち上がりから、緊張感のある試合内容でした。相手選手が、つばぜり合いの反則をとられた後、竹刀を落とし、反則二回で1本。優勝です。どちらかが1本とるまで見ていたかった試合内容でしたが、よく頑張りました。

2日目は、五條市のシダーアリーナで、団体戦。女子は、1回戦・2回戦を勝ち上がると、準々決勝で、優勝候補の郡山中学校との対戦。格上相手にチーム一丸となり戦いました。互角に勝負しましたが、敗退。結果、郡山中学校が優勝しましたが、大将戦まで勝負がもつれたのは、対富雄中学校だけでした。続いて、男子。優勝候補の筆頭にあげられていた富雄中学校でしたが、1回戦から、こちらも優勝候補の香芝東中学校との対戦。接戦を予想していました。先鋒が敗れましたが、あわてずに残りの選手が試合をし、勝利。2回戦は、こらまた優勝候補の奈良育英中学校。この試合も全員が落ち着いて勝負し、勝利。3回戦は帝塚山中学校、準決勝は十津川中学校に勝ち、決勝へ。決勝の相手は、この日勢いのある三笠中学校。先鋒から副将まで引き分けで大将戦へ。個人チャンピオンの井上でしたが、終盤で面を先取され、会場がどよめきました。しかし、井上は落ち着いてくれているのがわかりました。すぐに面を取り返し、更に胴を決めてくれました。更に、会場がどよめきました。

個人・団体とも、日ごろの練習の成果をだし、よく頑張ってくれました。剣道は、「打って反省・打たれて感謝」。負けてたくさんのことを学びます。今年は、これで試合はありませんが、床の冷たい冬がやってきます。地力をつける冬がやってきます。冬をいかに過ごすかが重要です。今回の学びを大切に、剣道部全員で、頑張ります。